

遺跡出土の 茶道具

2024.10.28~11.29

はないれ 花入

てつゆうはないれ
(写真左) 鉄釉花入
かいゆうはないれ
(写真右) 灰釉花入

戦国時代 清洲城下町遺跡（清須市）出土
室町時代 鶯窯跡（瀬戸市・14～15世紀）出土



茶席では彩りとして季節の花が飾られますが、その花を活ける花瓶は花入と呼ばれます。床の間に置く「置き花入」と壁にかける「掛け花入」などがありますが、陶器では今回展示するものも含めほとんどが置き花入です。写真左側のものは赤茶色の鉄釉、右側のものは薄緑色の灰釉がかけられており、釉薬によって印象が大きく異なることがわかります。どのような花が活けられていたのでしょうか。

こうろ 香炉

つつがたこうろ
(写真左) 筒型香炉
はかまごしこうろ
(写真右) 袴腰香炉

室町時代 鶯窯跡（瀬戸市・14～15世紀）出土
室町時代 鶯窯跡（瀬戸市・14～15世紀）出土



茶席では、空間を清めるため、茶室に香りをつけるために点前の前に香を焚きます。その際に使われるのが香炉です。まっすぐ立ち上がるものは筒型香炉（写真左）、胴体が膨らむものは袴をはいたように見えることから袴腰香炉（写真右）と呼ばれます。どちらのものも、14から15世紀にかけて操業した鶯窯跡から出土しました。鶯窯はこの時代の瀬戸を代表する窯であり、生活用品から仏具まで数多くの優れた製品が見つっています。

ちゃつぽ
茶壺

茶壺（祖母懷壺） 戦国時代 上品野西金地遺跡（瀬戸市）出土



茶葉を蓄えておくための容器を茶壺と呼びます。実用品であると同時に茶席に飾られるものでもあります。今回展示しているものは2色の釉薬のコントラストと4つの縦耳が特徴です。全体に錆釉をかけた後、耳の間に灰釉を流しかけています。また、この茶壺は祖母懷土と呼ばれる瀬戸地域の中でも特に良質な粘土で作られていることから、祖母懷壺とも呼ばれます。



ちゃいれ
茶入

(写真後列左右) 肩衝茶入 江戸時代前期 瓶子窯跡（瀬戸市・17世紀）出土
(写真後列中央) 播座茶入 室町時代 鶯窯跡（瀬戸市・14～15世紀）出土
(写真前列左) 内海茶入 安土桃山～江戸時代 清洲城下町遺跡（清須市）出土
(写真前列右) 瓢箪茶入 江戸時代前期 瓶子窯跡（瀬戸市・17世紀）出土



抹茶の粉を入れておくために使われる小型の壺で、形によって異なる名前と呼ばれています。肩が横に張り出した形の肩衝茶入（写真後列左右）、首の部分に粘土のかたまりをつまんで貼り付けた播座茶入（写真後列中央）、幅が横に広い形の内海茶入（写真前列左）、ヒョウタンのような形の瓢箪茶入（写真前列右）など、多くの種類があります。瓶子窯跡からは数多くの優れた茶入が出土していますが、骨とう品としての価値の高さから激しい盗掘の被害を受けてきました。今回展示している肩衝茶入と瓢箪茶入はその生き残りです。

みずさし
水指

水指 戦国時代 くわしたじょうあと 桑下城跡（瀬戸市）出土



よくある植木鉢のようにも見えますが、水指と呼ばれるれっきとした茶道具です。お湯を沸かすための茶釜ちゃがまに水を入れたり、茶碗やお茶をたてる道具の茶筥ちゃせんを洗う水を溜めたりするために使われる、点前てまえに必要な道具です。今回展示するもののように筒型で表面を焼き締めただけのシンプルなものから、個性的な形や美しい絵が描かれたものまで、さまざまな形態があります。

てんもくちゃわん
天目茶碗

(写真後列) 鉄釉天目茶碗 てつゆうてんもくちゃわん 戦国時代 清洲城下町遺跡（清須市）出土
(写真前列左) 長石釉天目茶碗 ちょうせきゆうてんもくちゃわん (白天目) しろてんもく / はくてんもく
戦国時代 朝日西遺跡（清須市）出土
(写真前列右) 銅緑釉天目茶碗 どうりよくゆうてんもくちゃわん 戦国時代 朝日西遺跡（清須市）出土 あさひにしせいせき



天目茶碗の由来は、中国浙江省天目山にある禅宗寺院で使われていた黒い茶碗です。この茶碗が鎌倉時代の日本にもたらされ、天目茶碗と呼ばれるようになったとされています。室町時代になって茶の湯が流行すると、中国から盛んに輸入されるとともに瀬戸・美濃窯でも作られるようになりました。数多くの伝世品があるだけでなく、戦国時代の遺跡から出土する茶碗の中でも圧倒的な量を誇ります。そのほとんどは黒から茶色のものですが、ごくまれに白色や緑色の天目茶碗が出土することもあります。今回はその中でも白色の長石釉天目茶碗（写真前列左側）、緑色の銅緑釉天目茶碗（写真前列右側）を展示しています。

3D マークのある遺物は 3D 化し、公式 HP 上で公開しています。

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/maizobunkazai/3dmuseum-akitoku24.html>

※windows11 をご利用の方は 3D viewer のダウンロード（無料）が必要です。

<https://apps.microsoft.com/detail/9nblggh42ths?hl=ja-jp&gl=JP>



愛知県埋蔵文化財調査センター 秋の特別公開 2024 「遺跡出土の茶道具」

《開催期間》

令和 6 年 10 月 28 日から 11 月 29 日（土日祝休館）

《特別開館日》

令和 6 年 11 月 4 日（月曜日・振替休日）

《展示解説》

令和 6 年 11 月 22 日（金曜日）・27 日（水曜日）

各日 10 時から・13 時 30 分からの 2 回開催

《アクセス》

○「近鉄弥富駅」下車 徒歩 18 分 タクシー 5 分

○「JR 弥富駅」（関西本線）下車 徒歩 18 分

○「名鉄弥富駅」（尾西線）下車 徒歩 18 分

○きんちゃんバス（弥富市コミュニティバス）

「近鉄弥富駅南口」から「前ヶ須西」下車すぐ

○木曽岬町自主運行バス「近鉄弥富駅」から「前ヶ須」下車すぐ

○お車でお越しの際は、建物前の駐車場をお使いください



〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方 802-24

TEL 0567-67-4164

公式 HP <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/maizobunkazai/>

